

授業科目 基礎作業学・分析学演習

【担当教員名】 桐本光，長谷川利夫	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

作業療法で治療的に用いられる種々の身体及び精神活動の概要を知り，これらが対象者の機能回復・維持にどのような機序で作用するのかを理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 作業療法で用いられる身体及び精神活動を列挙する。
2. 身体及び精神活動と治療的に用いる意義を関連付ける。
3. 身体及び精神活動が対象者の機能回復・維持に作用する機序を理解する。
4. 身体及び精神活動に期待される治療効果を説明するための初歩的な技術と理論を修得する。
5. 身体及び精神活動を定量的または個別的に分析する作業に慣れる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（講義の進め方，作業の治療的活用）	1	講義（桐本）
2	身体活動を分析するための実験方法の説明	1,2	講義，実習（桐本）
3	身体活動を制御する電気信号とは 1（体表からの電気刺激で筋収縮を誘発する）	3,4	実習（桐本）
4	身体活動を制御する電気信号とは 2（筋活動を筋電図で確認する）	3,4	実習（桐本）
5	最大筋力を発揮するために必要な条件	3,4	実習（桐本）
6	グループ発表の準備	5	演習（桐本）
7	グループ発表・討議	5	討議，講義（桐本）
8	精神科作業療法の役割	1,2	講義（長谷川）
9	精神科における作業療法実施上のモデル	1,2	講義（長谷川）
10	精神科作業療法における理論的枠組み	2,3	講義（長谷川）
11	創作的活動の治療的応用	3,4	講義，実習（長谷川）
12	レクリエーションの治療的応用	3,4	講義，実習（長谷川）
13	レクリエーションの治療的応用	3,4	講義，実習（長谷川）
14	グループ発表・討議	5	講義，実習（長谷川）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	石川齊，古川宏編：図解作業療法技術ガイド第2版，文光堂，8000円			
その他の資料	講義時に資料を配布する			

【評価方法】 出席，レポート，グループワークへの参加態度 筆記試験を併せて総合的に評価する	【履修上の留意点】
---	-----------